

<2022 年生協強化月間> 健康づくりとつながりづくりで班を元気に! 支部を元気に!

## 2022 年度 くらしと医療を守る全県キャラバン

### 高知市との交渉



高知医療生協が加盟している高知県社会保障推進議会（会長・田中きよむ県立大学教授）は、医療・介護など社会保障に関する要望をかがげて、高知県や県内の自治体と懇談、10月24日には高知市と8項目にわたって行いました。

（写真）

特に、県内の国民健康保険について 2030 年を目途に保険料の水準を統一することに関わって、「40 代の夫婦と中・高生の 4 人世帯で、所得 200 万円で 2 割減免」のモデルケースで 2022 年度

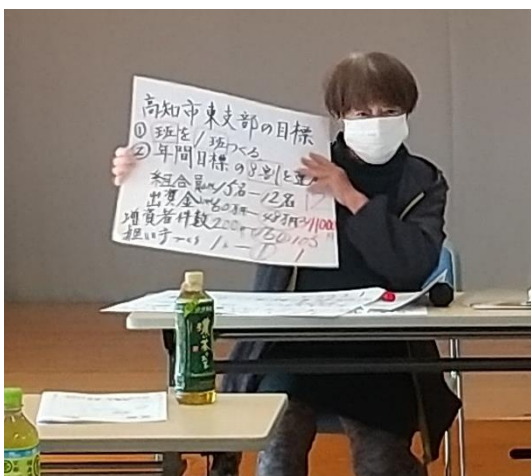
保険料が 304,000 円（年間）と高額になっていることが明らかになるとともに、知事と市町村との合意確認時の資料で、高知市長以外のすべての自治体首長がさまざまな意見が記載されている意見欄で「特に意見なし」となっていることに落胆と怒りの声が出されました。

○ 県内国保の保険料水準の統一に向け

市町村	
1 高知市	(特に意見なし)
2 室戸市	人口減少高齢化が県内他 また、医療体制の地域差
3 安芸市	保険料統一については、荷 いても、同じ所得、同じ世

## 班表彰制度の立候補をお勧めしました!

### 高知市東支部



11 月の支部運営委員会で、今後の取り組みを決め、日程を確認した後「組合員さんが 1 人も増えていないけど、何とかならんろうかねえ～」と問いかけました。すると 1 人の運営委員さんが「孫を入れちゃお!」と、すぐ答えてくれました。「本人に確認せんでもえいが」と聞きましたが、大丈夫とのこと。その運営委員さんの班は、皆さん出資金もしているということで「班表彰立制度に候補してください」とお願いすると、早速書い

てくれました。とても嬉しかったです。運営委員さんや班長さんにも頼り、少しずつでも目標達成していこうと思っています。(理事/澤本)



# 『ヘルスアップ60日キャンペーン』に3,886名がエントリー



ヘルスアップ60日の結果を聞きつつ、  
近況を聞いています **旭北支部**

旭北支部の小笠原支部長は自分が担当しているヘルスアップ60日の申込み者に結果報告を提出してもらうため、30-40件の電話がけをしています。その際、最近の様子も聞くようにしています。

訪問が難しい時は、こまめに電話でも交流をすることが、地域の方に長く医療生協を愛してもらうことにつながるのかもしれないね。

## 生協強化月間を頑張ってます!! 担い手増やしから班結成へ



朝倉きた支部で12月から運営委員さんが1名増えました。とても素敵な方で支部一同喜んでいたら、その方のお宅で100歳体操をしているとのこと。「ぜひそこに班を」との話になり、訪問してみると全員組合員さん。すぐに話がまとまり、集まっておしゃべりをする楽しい班ができました。

## くらしといのち何でも相談会が 県下各地で開催されています

12月から毎年開催している『くらしといのち何でも相談会』が始まりました。新聞にチラシを折り込みをした日から本部には電話がかかり、イオン高知旭町店2階おらんく広場の会場への予約が相次ぎ、別の会場へ紹介しました。当日は開始時間前においでたり、多少待ち時間もありませんでした。相談内容は相続関係が多いようでした。



## 「日頃の活動を共有できた」地域づくり交流会



各支部のサロンや居場所で活躍している方や地域活動に関心のある組合員などが集まった『地域づくり交流会』が11/21に、高知市社会福祉協議会地域協働課の職員を含め50名を超える参加で開催されました。

ラジオ体操一級指導員の山本氏の指導の下、全員で動きの意味を説明しながら体操をおこない、大変勉強になったと感想が出されました。後半のグループ討議も、日頃の活動を皆が発言できるなど、有意義な交流会になったようです。

